

## ◇ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「笠縫東」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	23,197,737円		22,574,295円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
施設HPアドレス	<a href="http://ayumi.hoikuen.to/nobikko_kasanuihigashi/">http://ayumi.hoikuen.to/nobikko_kasanuihigashi/</a>		2年目	25,483,292円		23,876,227円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
指定管理者名	社会福祉法人 良友会		3年目	24,673,500円		29,822,279円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		4年目	23,700,588円		26,621,401円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		5年目	23,822,017円		30,429,903円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。

### ●総合評価の基準

5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

### ○その他の項目

公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成14年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

### ◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

#### ●指定管理者の総合自己評価…

☆☆☆☆

#### ●市(施設所管課)の総合評価…

☆☆☆☆

#### 令和6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)

小学校敷地内、近隣に法人運営の児童センター、こども園があるといったメリットを活かし、子どもの様子や年度初めの下校について等を相談し、連携を図る。また、のびっ子前の芝生では、芝生を守る会に出席し日々の管理に努める。夏季休業中は児童センターを利用し、英語を用いた体験活動をはじめ、お笑い芸人と関わる機会を設け、漫才体験等を実施する。こども園屋上プールを利用し、10名程度の少人数で楽しめるようにする等、子どもたちの安全を十分に確保して活動する。日々、各支援単位でサークルタイムを実施し、自主性等、コミュニケーション力を育みたい。保護者対応では、送迎時のコミュニケーションを大切に、学期末の個別懇談等で保護者と共に子どもたちの成長を見守る。ICTシステム「コドモン」を活用して入退室管理はもちろん、行事等の連絡を発信し、より充実させていく。

#### 事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)

年間通して、運動遊び(体幹)を中心に、眼や姿勢に特化したビジョントレーニングを実施した。姿勢等の改善がみられた。夏季休業中には、ロクハ公園での自然体験活動や、バスを利用して長浜ヤンマーミュージアム、長浜城歴史博物館へ遊びを通して社会体験を実施した。少人数で安全を確保してこども園の屋上プールの利用、講師を招いて、水遊びでの安全指導を遊びながら身につけた。吉本芸人(ノーサイン)のお二人をお招きして、プロフェッショナルな芸を間近で観ると共に、事前に漫才の練習をして経過を大切に漫才体験を行った。夏季休業日終盤には、手作り水鉄砲作りから皆で水遊びを楽しみ、射的や輪投げ、駄菓子屋さん等、支援員がサポートしながら子どもたちで作り上げる「夏まつり」を実施した。児童センターまつりでは、LaQの作品や製作物を展示することで子どもたちが協力し、話し合って進める活動を意識して展開した。

#### 事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)

概ね適正な管理運営ができる。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。

#### 公募・非公募・使用料・利用料金制の導入についての効果の検証

(公募による応募状況等)

公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。

(使用料導入についての効果の検証)

公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブではなく、利用料金制の導入は行っていない。

◆施設に係る主な指定管理業務		◆評価基準
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務		☆☆☆☆☆ 仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務		☆☆☆☆☆ 仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務		☆☆☆☆☆ 仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務		☆☆☆☆☆ 仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
		☆☆☆☆☆ 仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)		市(施設所管課)の評価
指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
評価項目1 上半期評価  ★★★★★☆	研修は出来る限り出席できるよう周知し、法人看護師を講師に、心肺蘇生法とエビペンの使用について支援員全員が受講した。登所前の昼礼や、月2回の支援員会議などで引継ぎを行い、支援単位外の子どもの様子を把握して保育に取り組んだ。	上半期評価  ★★★★★ 仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。市が開催する研修にも積極的に参加し、また、救命講習やエビペン講習等の安全管理に力を入れて、児童の安全・安心に努められた。
	下半期評価  ★★★★★☆	下半期評価  ★★★★★ 仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。研修にも積極的に参加されると共に、年度末には支援員全員が保育を振り返り、資質向上に努められた。
評価項目1 下半期評価  ★★★★★☆	外部研修、キャリアアップ研修等に積極的に出席し、支援員一人ひとりの資質向上に努めた。ヒヤリハットを年2回振り返りの場を持ち、支援員全体の意識向上につなげた。学期末にはのびっ子渋川との交流機会を設け、活動の振り返りを行った。	★★★★★ 仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。研修にも積極的に参加されると共に、年度末には支援員全員が保育を振り返り、資質向上に努められた。

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)		市(施設所管課)の評価
指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
評価項目2 上半期評価  ★★★★★☆	毎月の誕生会や夏まつり等、行事は子どもたちが主体的な取り組みを進められるように進めた。こども園のプールで遊ぶことを含め、芝生でいくつかのプールを出して涼を取った。プロの芸人との漫才体験をはじめ、ロクハ公園での自然体験活動、バスを利用しての社会体験を実施した。書類は鍵付き書庫で管理すると共に、現金は児童センター金庫で保管。	上半期評価  ★★★★★ イベントについては、児童が主体的に活動するなど工夫し、時季に合ったイベントを実施された。様々な遊びや体験を通して児童が楽しめるよう、保育の充実に向けた姿勢が見られた。
	下半期評価  ★★★★★☆	下半期評価  ★★★★★ イベントについては、児童が主体的に活動するなど工夫し、時季に合ったイベントを実施された。様々な遊びや体験を通して児童が楽しめるよう、保育の充実に向けた姿勢が見られた。
評価項目2 下半期評価  ★★★★★☆	上半期に続き、子どもたちの主体性を大切に、クリスマス会やお別れ会等の活動を進めた。サークルタイムで関係性を深めながら、いつでも取り組めるよう工作コーナーを設けたり、毛糸を使った編み物を取り入れ、子どもたち一人ひとりが自分へ、友だちへ、家族へと想いながら楽しむことができた。	★★★★★ イベントについては、児童が主体的に活動するなど工夫し、時季に合ったイベントを実施された。様々な遊びや体験を通して児童が楽しめるよう、保育の充実に向けた姿勢が見られた。

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)		市(施設所管課)の評価
指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
評価項目3 上半期評価  ★★★★★☆	毎月のおたよりもコドモンにて配信し、掲示板でも掲示して周知を図る。児童センターのおたよりも配信し、様々な体験の機会ができるようにした。子どもの擦傷一つも送迎時にお伝えできるよう心がけた。学期末には希望制で個別懇談を実施し、不安のある保護者への対応を行った。	上半期評価  ★★★★★ おたよりもを通じて保護者に寄り添い、連携を図られた。また、必要に応じて個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
	下半期評価  ★★★★★☆	下半期評価  ★★★★★ おたよりもを通じて児童の様子を保護者に伝えられていた。また、保護者に対して実施したアンケートの結果を受け、支援員間で共有し工夫がされた。
評価項目3 下半期評価  ★★★★★☆	おたよりの中でのびっ子の子どもの姿を掲載すること含め、日々のお迎え時に保護者にお伝えできるよう努めた。年末にアンケートを実施し、保護者の想いを把握し、全支援員で周知し、次年度への反省と準備を進める。	★★★★★ おたよりもを通じて児童の様子を保護者に伝えられていた。また、保護者に対して実施したアンケートの結果を受け、支援員間で共有し工夫がされた。

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)		市(施設所管課)の評価
指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
評価項目4 上半期評価  ★★★★★☆	支援員で月2回の日常点検、年1回の年間点検を実施する。セコムに委託し、年2回の消防設備等の点検も実施。毎日の開所準備での目視の点検含め、下校前の昼礼や月2回の支援員会議で安全対策等を意見交換して、日々改善に努めた。	上半期評価  ★★★★★ 安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて訓練や点検を実施された。日々の保育ミーティングでも、安全対策等の共有を徹底し、安全な保育が保たれるように努められた。
	下半期評価  ★★★★★☆	下半期評価  ★★★★★ 安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて訓練や点検を実施された。他施設とも情報を共有し、支援員の危機管理能力の向上に努め、安全な保育が保たれるように工夫された。
評価項目4 下半期評価  ★★★★★☆	引き続き日常点検を実施した。ヒヤリハット(個々で気付いた時に記入)を取りまとめ、支援員全体で周知し、改善について検討して危機管理能力の改善に努めた。	★★★★★ 安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて訓練や点検を実施された。他施設とも情報を共有し、支援員の危機管理能力の向上に努め、安全な保育が保たれるように工夫された。